

第6回アジア栄養ネットワークシンポジウム

健康的な食生活を目指した社会環境整備

日時: 平成 26 年 3 月 12 日(水) 13:30~17:30
会場: (独)国立健康・栄養研究所 共用第一会議室 (東京都新宿区戸山 1-23-1)
主催: 独立行政法人国立健康・栄養研究所
後援: 厚生労働省、公益社団法人日本栄養士会、
特定非営利活動法人日本栄養改善学会、公益社団法人日本栄養・食糧学会



シンポジウムの概要

1920年(大正9年)に設立された国立健康・栄養研究所は世界で最も歴史のある国立の栄養研究所であり、約90年にわたって国民の栄養・食生活の改善および健康増進に貢献してきました。特に、2001年の独立行政法人化後は社会におけるニーズに応えるための栄養学研究を目指して国内のみならず、国際社会、特にアジア地域における健康および栄養上の問題解決につながる貢献を積極的に果たすことを目指しています。

当研究所が主催する国際シンポジウム「アジア栄養ネットワークシンポジウム」は、平成15年度以来隔年で開催しています。2004年1月に開催された第1回シンポジウム「生活習慣病を視野に入れた母子栄養について」に続いて、第2回「アジアにおける食事摂取基準と食生活指針について: 栄養学研究から政策へ(2006年3月)」、第3回「アジアにおける国民の健康づくりのための栄養調査と地域栄養プログラムの役割(2008年3月)」、第4回「アジアにおける栄養教育: 学校給食制度の取り組みについて(2010年9月)」、そして第5回「アジア太平洋地域における母子栄養とフードセキュリティ改善に向けた取り組みについて(2012年3月)」を開催し、国内外より招へいた当該分野の専門家とともに各テーマに関する学術的な討議と活発な意見交換を行いました。

近年、世界規模で取り組むべき最優先課題として、母子の栄養改善とともに非感染性疾患(Noncommunicable diseases: NCD)の問題が取り上げられており、平成25年度に開始された健康日本21(第二次)でも非感染性疾患の予防のため、栄養・食生活に関する生活習慣および社会環境の改善の目標が示されています。今回の第6回アジア栄養ネットワークシンポジウムでは、「健康的な食生活を目指した社会環境整備」をテーマとして取り上げ、アジア各国の現状と今後の方向性について議論を深め、相互交流を図ることを目的としています。

プログラム(発表・討論はすべて英語で行われます)

13:30 開会の挨拶【*理事長 古野純典】

13:40 シンポジウム

【座長: *国際産学連携センター長
マレーシア栄養学会長

西 信雄
Dr. Tee E. Siong】

基調講演 「WHO 西太平洋地域における栄養問題の負担減少のための行動計画 - 社会環境の改善に向けて」

【WHO 西太平洋事務局 栄養テクニカル・オフィサー
Dr. Katrin Engelhardt】

カントリーレポート

健康的な食生活を目指した社会環境整備: マレーシアの事例

【マレーシア栄養学会 会長 Dr. Tee E Siong】

ベトナムにおける食品摂取の傾向とアルコール飲料の課題、
食品安全およびファストフードの現状

【ベトナム栄養協会 会長 Dr. Le Thi Hop】

中国における国民の健康・栄養状態の変遷

【中国 CDC 栄養食品安全研究所・副所長 Dr. Guansheng Ma】

15:30~15:50 コーヒーブレイク

日本における健康寿命の延伸に向けた食環境整備・食を通じた
社会環境づくり

【女子栄養大学食生態学研究室・教授 武見ゆかり】

指定発言

東アジアの食品及び食品添加物の法的枠組みの調査と結果の
共有化

【ILSI Japan・特別顧問 浜野弘昭】

16:30 総合討論

討議者:

【WHO 本部・栄養政策・科学アドバイス課・課長 西田千鶴】
【サン・マレーシア大学・上級講師 Dr. Leng Huat Foo】
【国立保健医療科学院・主任研究官 石川みどり】
【*栄養疫学研究部長 瀧本秀美】

17:20 閉会の挨拶【*理事 丸山 浩】

*当研究所関係者

シンポジウム事務局

(独)国立健康・栄養研究所 国際栄養研究室 三好美紀

FAX: 03-5287-3404 E-mail: mikimiy@nih.go.jp

送信先： 国際栄養研究室 (FAX: 03-5287-3404)

平成 26 年 月 日

第6回アジア栄養ネットワークシンポジウム 参加申込書

ふりがな 氏名			
住所 所属先 もしくは 自宅	(どちらかに○をつけてください) 所属先 自宅 〒		
電話番号	FAX	E-mail	
所属先	(大学、研究所、行政機関、会社など)		
所属部署			
職業	研究者 栄養士 大学関係者 行政官 学生 その他 ()		
参加人数			

【参加申し込み方法】

今回のシンポジウムはラウンドテーブル形式にて行います（使用言語：英語、同時通訳なし）。オブザーバー参加を希望される方は、平成 26 年 3 月 7 日（金）までに上記の申込用紙を FAX にて国際栄養研究室あてにお送りいただくか、三好宛てメールにて上記参加申込書内の項目をお知らせください。

また、会場の都合上、オブザーバー参加の定員を 40 名程度とさせていただきます、申込み多数の場合は先着順の受付となりますので、予めご了承ください。

問合せ先：(独) 国立健康・栄養研究所 国際栄養研究室 担当：三好 (mikimiy@nih.go.jp)